6月　園だより

ふたばランド保育園

２０２５.６.１

牛久市中央5−5−２　tel.029-873-5528

ある日の降園時間のことです。２歳の女の子とお母さんがコロコロライブラリーの前で何やら話しています。女の子は本を借りたいけど既に一冊お家にあるようです。なんとなく気になり、事務室から会話の様子を聴いていました。

女の子「ほんかりたい」
母　「お家にあるよ」
女の子「ほんかりたい」
母　「お家にあるでしょ」
女の子「ほんかりる」
母　「そうだね。かりたいよね。」
女の子「うん」

このやりとりの後、すんなりと玄関を出て降園していきました。ここで【共感】の大切さを改めて感じました。女の子の本を借りたい気持ちに対して、お母さんが「そうだね」と思いを汲むことで、この女の子には納得感が生まれたのではないでしょうか。ついつい急かすような声を掛けたくもなりますが、出そうになる言葉をぐっと飲み込んで、一言目に「そうだね」と共感することで子どもの気持ちも昇華していきます。大人も頭ごなしに否定されたら嫌な気持ちになるのと同じかもしれません。お母さんお見事でした！

最近ＺＩＴＶの朝の番組で『それもいいね！（詩曲こっちのけんと）』という曲が流れています。共感の大切さを歌っていて、その言葉の良さが響きました。自分の感じ方だけでなく、相手の感じ方も認め、「それもいいね！」と言える関係が子どもたちの中で当たり前になっていくと良いですね。ただ、相手に迷惑を掛けて自分だけが楽しいことに対しては気付きを持たせる必要もあります。「そうだね。でもさ…」「それもいいかもしれない、けど…」など、その気持ちを一度受け入れた上で、考えられるような気付きを与えていくのも大人の役割なのかもしれません。

園長　梶原（かじわら）　秀一（ひでかず）

今月の予定

おいしいなおはなし会＜年長児＞
６／３（火）13：30～

市の健康づくり推進課の食育活動の一環として、栄養士の方と牛久市食生活改善推進員の方々が年長児向けにお話しをしてくださいます。

カレーライスの日
６／１１（水）

2歳児：前日に野菜洗い、3歳児：フルーチェ作り、4歳児：野菜切り、５歳児：かまど係、クッキングアシスタント係（かまど補助）、フルーチェ係（3歳児援助）に分かれて活動しています。０、１歳児は作る様子を見学して匂いや音などの五感を通して楽しんでいます！

おべんとうデー
６／１８（水）

毎月のお弁当作りにご協力いただきありがとうございます。子どもたちは本当に嬉しそうに、「たまごはいってるよ！」「おにぎりもってきた！」と教えてくれます。今月もよろしくお願いいたします。

交通安全教室＜年中・長児＞
６／２０（金）　13：30～

今月は『雨の日の注意」がテーマです。教化員の皆さんが工夫を凝らした手作りの紙芝居やゲーム等を通して、子どもにも分かりやすく交通安全について教えてくださいます。

誕生会
６／２６（木）10：00～

６月生まれの誕生会です！誕生会は年長児がエスコートキッズとして、誕生月のお友だちをステージまで連れていくところからスタートします。歩いている様子はどこか誇らしげです。

尿検査
検査キット配布　６／２（月）
提出日　６／４（水）９時まで

内科検診
６／１７（火）１４時～

歯科検診
６／１９（木）１４時～

☆お知らせ・★お願い

★夏祭りについて

保護者会・保育園共催の夏祭りを、すでにお知らせしている通り７月５日（土）におこないます。例年気温が上がる夏真っ盛りを避けての開催なので、夏祭り委員の皆様は４月から活動して頂いています。皆様にもご協力いただきながら、楽しい時間になるように準備をしておりますので、よろしくお願いいたします。先日配布の手紙と、今後配布のプログラムをお読みください。

★園内での携帯電話の使用について

園内で携帯電話での通話はお控えください。また、登降園の際に日常の様子を写真や動画で撮影することもご遠慮ください。

☆サツマイモ苗を植えました！

3,4,5歳児が園舎裏の畑にサツマイモの苗を植えました。今年度も芋千様（牛久駅東口を出てすぐにお店があります）に芋苗を提供していただきました。収穫したら園庭の落ち葉で焼き芋をして食べますよ～！

★虫よけの対応について

今年もまた蚊が出てきましたね。園での対応は、保育室等の屋内に電気式蚊取り器を設置、戸外に出る際は虫よけスプレー、刺された際はムヒで対応しています。ご家庭から虫よけシールをご使用になる場合、衣服に付けると剥がれ落ちやすいため、名札の裏に付けてください。（落ちたシールを小さい子が誤飲する可能性があります。）また、虫よけリングは薬剤が手指に付くことを防ぐため、手首でなく足首に着けてください。未使用の虫よけシール・リングの袋はお子さんのリュックに入れたままにならないよう、必ず保護者の方が管理してください。

「歩こう、歩こう、私は元気」

私は歩くことが好きだ。外出しない休日は、事務所で仕事する。単に移動するだけなら、車で行った方が早いし、公道のほうが歩きやすいが、少し遠回りになるが、山林や畑の中の小道を歩いて行く。木々の芽が吹き、小さな花々、鳥のさえずり、自然の中に浸り、身も心もゆったりと解放される。歩いていると、いろいろなことが流れ、湧き出てくる。野道の中に、みごとな大樹の桜がある。誰にも見られず私一人に語りかけてくる。そして、すぐに桜吹雪になって、小道が花のジュータンになった。桜に変わって、つつじが咲き、あやめ、かきつばたか。小道の中のそこ、ここに小さな野の花が。

歩くことが目的でもなく、歩くことで思索が、自己を見つめ直すとかいうものではなく、ただ歩くことだけである。「無」である。

子ども達と歩くのも好きだ。特に柔らかな新緑の頃に野原を横切り、山林に分け入って歩く。子ども達と歩く時は、冒険ありの探検が楽しい。先生達も心得ていて、私が今日は園に行きますと電話すると「えっ！来てくれるんですか、じゃ、お散歩に行きましょう！」と言う。子ども達に、私が来ることを伝えると、「ヤッター！」とみんなが喜んでくれる。北竜台の園は、周囲が自然に包まれている。隣地には、広い野原が広がっていて、たくさんの野の花が咲き、バッタや蝶が飛び、水溜まりには、オタマジャクシもカエルも群がっている。愛国学園や公園まで歩いて行く。囲いも、フェンスもないので野原を横切り、歩く。広い野原の所有者は、「ここは私有地だから入らないでください」と無粋なことを言うが、子ども達と私は、「ハイ、ゴメンなさい」と意に介さず、歩く。

誰からともなく、自然に、「歩こう！　歩こう、私は元気」と歌い始める。子ども達も解放されるのだ。自由なのだ。公道を手をつなぎ、行動を抑えられて歩く「行進」ではなく、まさに「お散歩」「探検」なのだ。野の花や野草の名前をほとんど知っている博士ちゃんもいた。わたしは、教えてもらったけれど、多すぎて、三～四種しか覚えられなかった。自然の中で自由に歩くことで、たくさんの体験ができる。子ども達ともっと散歩しよう。しかし、急に暑くなり、熱中症が心配になって、散歩の機会もすくなくなっている。

理事長　浅田（あさだ）　精利（きよとし）